

糖尿病の患者さんへ



血液中の血糖値が慢性的に上がってしまう生活習慣病の「糖尿病」。
 一見歯科とは関係なさそうですが、炎症が起きやすかったり、傷が治りにくかったり
 するため、前回に引き続き治療を受ける際に知って頂きたいことを紹介します。

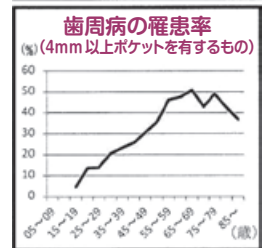
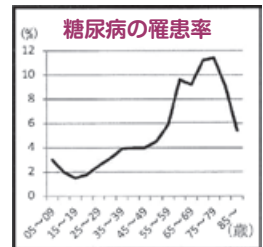
糖尿病と歯周病の関係

傷が治りにくかったり、炎症を起こしやすい糖尿病の患者さんの場合、例えば歯を抜いたり歯肉を切って治療をする際、治療の傷が治りにくく感染を起こしやすいため、健康な方の治療にくらべて特別の配慮が必要です。

私たち歯科医師は、安心・安全な歯科治療をご提供することを切に願っております。

日頃から血糖値をコントロールすることはもちろん「たかが歯の治療だ」等と気楽に考えず、必ず問診票や口頭で糖尿病であることを歯科医師に伝えましょう。

四十歳を過ぎる頃からは
 注意が必要です！



二つのグラフは
 よく似てるな～



2011年厚生労働省
 調査資料より

歯の治療と糖尿病の深い深い関係

歯周病

- 歯周病になると血糖値のコントロールを邪魔する毒素 (TNF- α 等) が出てくる。
- インスリンの働きを悪くする。

➔ 糖尿病が悪化

糖尿病

- 感染しやすくなる。
- 抵抗力が落ちる。
- 傷が治りにくい。

➔ 外科処置の予後が悪化

歯周病のリスクが
 増大します！
 お口の中を清潔に！



歯周ポケットが
 深くなる
 歯槽骨が溶ける



血流が悪く
 細胞が酸素不足に！

免疫機能が低下！

細胞が
 飢餓状態※に！

※インスリンが慢性的に不足すると血液中の糖분을細胞内に取り込めなくなり、栄養不足に陥った細胞の働きが低下します。これでは傷が早く治るわけがありません。